

(第2号様式)

具志川第 2257 号
令和6年 3月 18日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立具志川学校
校長 赤嶺 信一
(公印省略)

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	令和5年7月20日	本校会議室	評議員 4名 全員参加
第2回	令和5年12月21日	本校セミナーハウス	評議員 3名参加 委任 1名
第3回	令和6年3月14日	本校セミナーハウス	評議員 3名参加 委任 1名

2 学校評議員に求めた事項

- ①各学期における教育活動状況(学習状況・諸大会・進路指導状況・生徒指導状況等)に対する意見・助言
- ②コロナウィルスやインフルエンザ等感染拡大防止対策等、学校安全に対する意見・助言
- ③学校評価についての感想

3 学校評議員の意見

- ①コロナ後、人間関係の構築が苦手な生徒に対して、HR担任、教育相談係・養護教諭と連携を図り取り組んだ。必要に応じてスクールカウンセラーに繋げ等早期に対応できたことは良かった。
- ②同窓会の予算で中庭に多目的ステージを設置した。生徒は部活動や自主活動等に活用し、学校活動の充実を図れたことは良かった。
- ③生徒の活躍を紹介する横断幕が多いことが、生徒達の励みになっていると思う。
- ④デジタル連絡ツール「スクリレ」やHP等によって、学校での様子や連絡事項を発信できたことは良かった。

4 学校運営に反映した事項

- ①様々な悩みを抱えている生徒へHR担任や養護教諭等、関係職員・外部の関係機関と密に連携を図り迅速に対処出来た。
- ②横断幕を掲示することで、生徒に学校への誇りを持たせるとともに、生徒の活躍を地域へ積極的にアピールすることが出来た。
- ③各HR担任や分掌の担当職員から対象となる保護者へスクリレ等を活用し、迅速・適確に情報を提供することが出来た。

5 課題その他

- ①1人1台端末による、ICT活用した授業改善への取組と校務の情報化を継続的に研究・実践する
- ②生徒の活躍等を地域へ積極的にアピールするために、今後も継続して横断幕を作成・掲示する。
- ④本校は、トイレ等の不備について、多くの意見があるので、学校の環境整備について継続的に着手する必要がある。